

一切経山山行報告

【山行日】2025年 9月 15(月) 晴れ

【集 合】 栃木市運動公園 P AM 4:00

【費 用】 マイカー1台 : 3,900円

【メンバー】 CL:鈴木、SL:飯野、
田崎、並木、根本、福島、渡邊カ、

【コースタイム】 栃木市運動公園 P4:00＝

浄土平 P6:20/6:40～酸ヶ平避難小屋

7:20/7:30～一切経山 8:00/8:10～家形山

8:55/9:10～一切経山 99:55～酸ヶ平避難小

屋 10:40/10:50～鎌沼 11:10/11:50～

浄土平 12:30/12:40～吾妻小富士 12:10～

浄土平 P13:40/13:50＝くだもの畑 14:30/14:50＝栃木市運動公園 P17:00

9月14日(日)に越後駒ヶ岳山行が計画されていたが、参加出来ない人達の為15日の祝日に一切経山を計画した。栃木市運動公園を4:00に出発し、浄土平の駐車場に6:20に着く。この時間は



駐車場の係員が不在で、駐車料金は取られず車を止めることが出来る。トイレを済ませストレッチを行ったら出発し、天文台の脇を通って登山道へ入る。緩やかな登山道を進み、姥ヶ原への分岐から右に登るとしだいに傾斜がきつくなる。岩の急坂を登り切ると傾斜が緩くなり、木道を進むと分岐に出て右に酸ヶ平避難小屋へ進む。酸ヶ平避難小屋で休憩し、衣服調整をしてトイレを済ませる。小屋からは沢筋を登って行き、一切経山の斜面に取付くとガレ

た急坂を登るようになる。稜線に出ると右側に吾妻小富士の噴火口が見え、皆さんから歓声が上がる。天気予報では風が強くガスが掛かる予報だったが、うっすらガスが掛かるが視界は良く、展望も悪くない。傾斜が緩くなると広い山頂に出て、ケルン状の石積の前で記念写真を撮る。山頂の北側まで進むと「魔女の瞳」と呼ばれる五色沼がブルーに輝いて見える。「これが見たかったのよ！見られて良かった！」と声が聞こえる。展望を楽しんだら家形山へ向かい、山頂から北側の魔女の瞳に向かって下って行く。ザレた急坂を下り灌木帯を抜けると傾斜が緩くなり、魔女の瞳の畔に出たら休憩する。沼の縁は浅くエメラルドグリーンで、中央部は深く段々濃い青と変わりグラデーションが楽しめる。



沼の畔に付けられた道を進み、沼から離れると左の斜面を登って行く。灌木の中の急坂を登って行



き、露岩のザレた道を登ると山頂に出る。ここからの展望も素晴らしく、魔女の瞳と一切経山が絵葉書のように美しい。展望を楽しんだら来た道に戻るが、一切経山への登山返しはきつかった。一切経山山頂まで戻り、もう一度魔女の瞳を眺めたら下山開始する。酸ヶ平分岐まで戻り、右に鎌沼に向かって進む。酸ヶ平湿原に付けられた木道を行き、花はほとんど終わっていたがオヤマノリンドウが目を楽しませてくれる。鎌沼の畔に出ると沼の畔に沿って木道を歩き、途中東吾妻山

への道を右に分け直進する。

沼畔の休憩所でランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やおにぎりをいただく。雄大な自然を眺めながら食べるランチは美味しく、いつまでも眺めていたい気持ちを振り切って出発する。鎌沼から離れるとすぐに分岐になり、右に浄土平に向かって下って行く。溝状にえぐれた登山道を下り、泥濘に足を取られぬように慎重に下って行く。往路で登った酸ヶ平への道を左に分け、直進して浄土平へ向かう。途中から浄土平の湿原に付けられた木道を歩き、ビジターセンターの脇に出て浄土平に着く。休憩し



てトイレを済ませたら吾妻小富士へ向かう。道路を横切ると吾妻小富士の登山口になり、整備された階段の登山道を登って行く。観光客が多くゆっくりしたペースで登って行き、火口の縁に出ると展望が素晴らしい。火口の中や噴煙が上がる一切経山は異次元の景色で、火山独特の景観に感動する。この景色を見ながら時計回りに火口の縁を登り、最高点の大きな岩の上で休憩し展望を楽しむ。ここからは緩やかな下りになり、正面に一切経山を見ながら下れこれぞ火山と云う絶景を楽しめる。

浄土平駐車場まで戻り、靴を履き替えたら帰路につく。帰りに桃を買いたいというリクエストがあり、土湯に向かって走り「くだもの畑」という直売所に寄る。テーブルで試食をいただき、皆さんモモをゲットした。家に帰って食べたらとても美味しく、もっと買えば良かったと後悔した。

帰りは福島西 IC から東北道に入り、渋滞も無く計画通りに栃木市運動公園へ帰着した。